

講義科目名称： 異文化コミュニケーション論

授業コード： 2210300700

英文科目名称： Introduction to Intercultural Communication

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	自由選択
担当教員			
エルダトン・サイモン、徐淑子、中村義実			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】</p> <p>◎エルダトン サイモン</p> <p>徐 淑子</p> <p>中村 義実</p> <p>【研究室】</p> <p>214</p> <p>316</p> <p>210</p> <p>【本学の科目区分】</p> <p>教養科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】</p> <p>看護師課程</p> <p>【DP 1】 【DP 2】 【DP 3】 【DP 4】 【DP 5】 【DP 6】 【DP 7】</p> <p>○ ◎</p>
------	--

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般的な人類文化の基礎的現象及び世界の文化の多様性を理解する。</li> <li>2. 異文化コミュニケーションの現状と課題を理解する。</li> <li>3. 異文化コミュニケーション能力を高める。</li> <li>4. グループプレゼンテーション能力を高める。</li> </ol>
------	--

授業概要	<p>異文化コミュニケーションとは、異なる文化的集団のメンバー同士が直接交流する際に行われるものを指す。この場合、社会的な相互作用における人々の関係性と、文化の違いや隔たりを越えて共通の理解を築くためにどのようにコミュニケーションを調整するかが重要になる。本講義では、中心となる質問に基づくグループディスカッションやケーススタディの検討を通じて、異文化コミュニケーションの基本を理解するとともに、関連スキルの向上を支援する戦略や技術への認識を深めることを目指す。最後には、看護や医療現場における異文化コミュニケーションの改善方法について、グループでアイデアを発表することが求められる。</p>
------	--

授業計画	<p>1-4 授業内容          授業形態：対面          担当教員：エルダトン (中村)          学習課題：グループディスカッションとケーススタディ (日本語、または英語)</p> <p>学習内容：          ディスカッションテーマ：          ・全ての人間社会に共通するものは何か？          ・全ての人間に共通するものは何か？          ・文化とは何か、それは私たちの思考や行動にどのような影響を与えるのか？          ・文化においてコミュニケーションはどのような役割を果たすのか？          ・効果的なコミュニケーションとは何か？          ・異なる文化が交流する際に何が起きるのか？ (ケーススタディ：ニュージーランドのワイタンギ条約)          ・異なる文化の個人が交流する際、コミュニケーションにどのような影響が出るのか？          ・効果的な異文化コミュニケーションを支援するために何ができるのか？          ・異文化コミュニケーションにおいてテクノロジーはどのような役割を果たすことができるのか？</p> <p>5 授業内容          授業形態：対面          担当教員：徐          学習課題：グループディスカッションとケーススタディ (日本語)</p> <p>学習内容：          ディスカッションテーマ：          クリニカル・バイアスと異文化コミュニケーション</p> <p>6-8 授業内容          授業形態：対面          担当教員：エルダトン          学習課題：グループプロジェクト (英語)          (6つの帽子思考法プロジェクト)</p>
------	---

	<p>学習内容：  プロジェクトテーマ：  看護や医療分野における異文化コミュニケーションをどのように改善できるか？</p>
事前・事後学習	課題に意欲的に取り組むとともに、時間外の自己学習に努めてください。
評価方法、評価基準	到達目標に対し、グループディスカッションおよび報告（日本語） 40%、グループプロジェクト（英語）（6つの帽子思考法プロジェクト） 50%、自己評価 10%
必携図書	特になし
参考図書・資料等	随時提示
受講、課題、資料配布等のルール	やむを得ず欠席の場合、事前にメールで連絡をすること 課題を締め切り日までに提出すること 原則として、ディスカッションは日本語で行い、グループプロジェクトは英語で発表する。
教員からのメッセージ	将来、日本や海外で看護師として活躍するためには、異文化間でのコミュニケーション能力がますます重要になってきます。一緒に異文化理解のスキルと知識を磨いていきましょう！ As future nurses here in Japan or overseas, the ability to communicate across cultures will become more and more important. Let's work together to brush up your intercultural skills and knowledge.
オフィスアワー	